

1 区で、ケースワーカー、民生委員、母子世帯（生保）の調査を実施させていただける目途が立ちました。8月25日（月）～29日（金）までに母子世帯調査を集中して行います。

2 北海道 で、北大の教育福祉専攻の「老人単身世帯調査」に便乗して、母子世帯調査を実施させていただくよう交渉中です。細目について8月20日（水）に杉村、吉浦で現地に行き調整してきます。

3 日程調整など準備することは以下の通りです。

7月24・25日 北海道民生委員連盟、 民生委員協議会と協議（杉村）

8月18日（月） 研究会兼調査準備（ 調査）

① 日程の調整、調査参加状況の確認（別紙）

② 調査票の確認

③ 民生委員アンケート返信用封筒の作成(450枚)(担当)

④ 当事者の推薦名簿をもらったあとの、依頼状の送付
(担当)

⑤ 宿舎の手配(担当)

⑥ 19日～22日までの 区との連絡(担当)

⑦ 記念品の手配(30個)(担当)

8月20（水）・21日（木）杉村、吉浦、(および北大グループとの打ち合わせ)

① 調査世帯（母子世帯20、高齢単身世帯20の予定）の確認と調整

② 調査票の北大側との調整

③ 宿舎の交渉

④ 民生委員調査の回収方法などの確認

⑤ 調査世帯の居住地区の確認など

8月25日（月）～29日（金） この間の数日で 調査（適宜研究会）

9月11日（木）～16日（火） この間の数日で 調査（適宜研究会）

10月11日（土） 研究会（調査集計、分析の分担、報告書執筆の分担）

11月08日（土） 研究会

12月06日（土） 研究会

01月10日（土） 研究会

資料1-5
調査研究
実施一覧
日時

日時	事項	場所、依頼先等
2003・05・30	A区調査依頼 1. 生活保護母子世帯調査、 2. ケースワークアンケート調査の協力依頼	場所、依頼先等 A区役所、生活保護担当部局
2003・06・13	A区調査依頼 1. 生活保護母子世帯調査、 2. 民生委員児童委員調査の協力依頼	A区役所、民生委員担当部局
2003・06・20	A区民生委員協議会代表総務へのごあいさつ	A区役所、民生委員担当部局
2003・06・27	調査趣旨の説明と意見交換、	A区民生委員協議会児童部会
2003・07・23	03年度第1回生活問題研究会 1. 昨年度の研究報告書の確認、 2. 今年度の研究計画について	一口坂別館
2003・07・24～25	B町調査依頼	北海道B町社会福祉協議会、役員会
2003・07・31	A区調査実施打ち合わせ 1. 生活保護母子世帯調査、 2. 民生委員児童委員調査の協力依頼	A区役所、生活保護実務担当者
2003・08・18	A区調査実施打ち合わせ 1. 調査計画の検討、調査協力者の確認 2. 調査世帯選定と当事者への協力依頼の方法の検討、 3. プライバシー保護に関する誓約の件について	一口坂別館
2003・08・20～21	03年度第2回生活問題研究会 1. 調査日程について 2. 調査内容の検討、調査表の検討	B町社会福祉協議会会議室
2003・08・25	B町調査打ち合わせ 1. 生活保護母子世帯調査、 2. 民生委員児童委員調査	A区役所、生活保護担当部局
	A区実地調査最終打ち合わせ	

2003・08・26～29	A区実地調査 1. 生活保護母子世帯調査 2. 民生委員児童委員アンケート調査 3. 生活保護ケースワーカーアンケート調査 貧困と社会的排除に関する日米シンポジウム B町実地調査	調査事務局： 区コミュニティセンター 一口坂別館 北海道大学大学院教育科学研究科会議室 調査事務局： ホテル
2003・08・02～03 2003・09・12～16	1. 生活保護母子世帯調査 2. 民生委員児童委員アンケート調査	法政大学現代福祉学部 一口坂別館
2003・09・17 2003・10・04	A区民生委員聞き取り調査打ち合わせ 03年度第3回生活問題研究会 1. 調査結果のまとめ方について 2. 民生委員聞き取り調査の実施について	法政大学現代福祉学部 一口坂別館
2003・10・17 2003・11・08	A区民生委員アンケート調査の実施について 03年度第4回生活問題研究会 1. 調査結果の分析 2. 民生委員聞き取り調査の実施について	A区役所 一口坂別館
2003・12・13	03年度第5回生活問題研究会 1. 来年度の研究計画について 2. 本年度の報告書の章節構成と執筆分担	一口坂別館
2004・01・10	03年度第6回生活問題研究会 1. 原稿に基づく検討 2. 執筆分担の再調整 報告書打ち合わせ	一口坂別館
2004・02・17 2004・02・24	03年度第7回生活問題研究会 1. 原稿点検 2. 決算状況の確認 地域活動を行ってきたケースワーカーの聞き取り	岡部研究室 杉村研究室
2004・03・04 2004・03・15	03年度第8回生活問題研究会 1. 原稿点検	区内施設 法政大学現代福祉学部

資料1-6

母子世帯の生活と子どもの教育－自立支援に関する－調査票（当事者用）

2003・08・01

0 フェースシート

(1) 現在の家族構成（続柄、性別、年齢、職業・就学状況、健康状態）をうかがいます

	続柄	性別	年齢	職業・就学状況	健康状況
1					
2					
3					
4					
5					

転出した家族員

1	
2	
3	
4	

(2) 現在の住まいの状況についてお伺いします。

① 居住の形態と家賃

① 持家 ② 民間借家（家賃） _____

③ 公営住宅（家賃） _____ ④ その他（ _____ ）

② 現在の住まいについて、お困りのことはありませんか。

(3) 現在もらっている年金や手当などのついてお伺いします。

① 年金 年額 _____

② 児童手当 月額 _____

③ 児童扶養手当 月額 _____

④ その他（ _____ ）

(4) (現在生活保護を受けている方の場合) 保護支給額内訳 (2003年 月現在)

- ① 最低生活費 _____
- ② 収入充当額 _____
- ③ 扶助支給額内訳
生活扶助 _____ 教育扶助 _____ 住宅扶助 _____

(5) 生活保護を受けるようになったのはいつからですか。(何回かある場合は全部教えてください)

- | | 保護開始年月日 | 保護廃止年月日 |
|---|---------|---------|
| ① | _____ | _____ |
| ② | _____ | _____ |
| ③ | _____ | _____ |

(6) 保護を申請したころの様子と申請した理由についてお伺いします。

- ① 離婚してから申請するまでの期間の生活の様子(離婚してから申請までの地域移動、申請までの期間など、)

- ② 申請時の家族の健康状態(病気の人がいる場合、誰がどのような健康状態だったか)

- ③ 申請時の子どもの様子(就学前の子どもの場合、保育園・幼稚園などに通園していたか、就学時の子どもの場合、修学援助制度などを利用していただか等)

- ④ 申請時に母親は働いていたか(職種、雇用の形態、就労日数、給与など)

- ⑤ 申請時の主訴

I お母さんの健康と仕事に関することについてお伺いします。

1 現在のあなたの健康状況はいかがですか

- ① 通院をしている場合の（診療開始、病名、状態）を教えてください。

- ② 健康管理上、なにか気をつけていることはありますか。

- ③ 健康問題で困っていること、心配なことはありますか。それはどのようなことですか

- ④ 健康管理や病気治療に関してなにかご希望はありますか。
（どのようなことですか）

2 あなたの就労の状況についてお伺いします

- ① 職種、就労日数、就労の形態、給与の形態、平均の月収、賞与の有無などを教えてください。

- ② 就労ではどのようなことに心がけていますか

- ③ 就労のことで困っていること、心配なことはありませんか。ある場合にはそれはどのようなことですか

- ④ 就労に関してなにかご希望がありますか。ある場合にはそれはどのようなことですか。

3 現在就労していない方にお伺いします。

(1) 求職活動をおこなっている場合

① どのようにして求職活動をしていますか（ハローワークの利用状況、その他の求職活動の状況）

② 希望の職種、就労日数、就労時間、就労の条件、月収などを教えてください

③ 求職活動に関して、困っていることや希望することはありますか

④ 求職活動がうまく行かない理由は、何であるとお考えですか

(2) 求職活動をおこなっていない場合

① 何か求職活動ができない理由がおありですか（健康問題、育児、適当な仕事がない、求職の方法がわからないなど）

② あなたは働くことについて、何を一番に考えますか（自分にあった仕事、収入、子育てをしながらできる仕事など）

II 子育て・育児に関すること

1 子どもさんの教育のことについてお伺いします。

(1) 子どもさんは元気で学校（保育園）に行っていますか

① 一学期には遅刻・休みはありませんでしたか

② お子さんの好きな科目は何ですか

(2) 塾や習い事をしていますか

① どのような習い事をしていますか

② 回数と費用を教えてください

③ 通わせていない場合（通わせたいですか、通わせることができない理由など）

(3) こどもさんの将来の進路についてどのようにお考えですか（今の段階で考えていることで結構です）

① どの段階まで進学させたいですか、またどのような仕事につかせたいですか

② 進路選択で心配事、困っていることはありますか、どのようなことですか

(4) あなたは、こどもさんのことで学校や保育園に行くことはありますか

① あなたは学校や保育園の先生とはよく話す方ですか

② 学校などの対応で心配な事などはありませんか

2 こどもさんとお話しなどについて伺います

(1) あなたは、こどもさんとはよく話しかける方ですか

① あなたからは、どのようなこととお話しになりますか

② こどもさんは、あなたの話をよく聞きますか

(2) お子さんは、あなたによく話しをしますか

① 学校のことや友だちのことをよく話しますか

② 学校や友達以外のことを話すことがありますか

(3) 子どもさんのことで心配事や困っていることはありますか（ある場合には、どのようなことですか）

(4) あなたが子どもさんのことでの悩んだ場合など、相談する方は主にどなたですか

3 子育てに関することについてお伺いします。

(1) かりにお母さんが病気などをした場合、子どもさんの世話や身の回りのことはどなたにお願いしますか

(2) あなたが、病気などの事情で子どもさんの世話などができない場合に、どのような支援があったらよいと思いますか

(3) あなたは子育てのことについてどなたからアドバイスを受けたことがありますか、

① どのようなときに、どなたから、どのようなアドバイスを受けましたか

② そのアドバイスは、あなたにとって役立ちましたか

- ② 結婚したときの配偶者のお仕事についてお聞かせください。
(わかる範囲で結構ですが、結婚時の職種、雇用の形態、就労日数、給与など)

- ③ 結婚後、あなたと配偶者の仕事に変化がありましたか
(変わった場合、どなたが、変わった理由、職種、雇用形態、就労日数、給与など)

- ④ 結婚されたときに、子どもさんはいましたか

- ⑤ 結婚直後の生活は、結婚前と比べてどのように変わりましたか(暮らし方、生活水準など)

2 あなたはいつ配偶者と別れましたか

(1) 死別のばあい

- ① 亡くなった理由と経過(あなたの年齢、子どもさんの状況など)

- ② 保険や年金の状況

- ③ 母子世帯になったとき、最も頼りになった人、機関など

(2) 離別(離婚、生別)のばあい

- ① 離別の時期、場所

③ 母子相談員さんに相談をしましたか、母子福祉資金の利用をしましたか

④ 教育費の減免を行う、就学援助制度を利用しましたか

⑤ そのほか何か利用した制度はありますか

(3) 離別時にこのような援助・支援がありがたかった、あるいはこのような援助・支援が欲しかったなど、要望やご意見がありますか

① 児童扶養手当についてのあなたのご意見をお聞かせください

② 生活保護制度についてのあなたのご意見をお聞かせください

③ 母子福祉資金についてあなたのご意見をお聞かせください

IV 現在の生活とご意見

1 親族・近隣との交流についてお伺いします。

(1) 両親や姉妹との交流はどの程度ありますか(頻繁に会っている、電話で連絡を取り合っている、あまり交流がないなど)

(2) ご近所に心配事等を気軽に相談できる人がいますか、その方はあなた自身の友人ですか、子どもさんを通じての知人ですか

2 離別に関するご意見

(1) 今振り返ってみて、夫(配偶者)と別れたことは、よかったと思いますか、後悔が残りましたか。それはどのような理由からですか。

(2) 離別した母子世帯に対して世間には誤解や偏見があると思いますか。それはどのようなときに感じましたか。このことについてのあなたのご意見をお聞かせください。

3 再婚に関することについてお伺いします。

① あなた自身は再婚をお考えになったことはありますか。

② それはどのような理由からですか

③ 再婚する場合、どのようなことに配慮する必要があると思いますか。

4 最後に、母子世帯の支援についてどのようなことでも結構ですご意見をお聞かせ下さい。

長いことご協力いただきありがとうございました。

資料 1 - 7

女性の就労と子育て支援に関する調査協力をお願い

初秋の候、時下ますますご清祥のことと存じます。

突然のお便りで恐縮ですが、私達「女性世帯の就労と子育て支援に関する調査」研究プロジェクトチームは、このたび 民生委員児童委員協議会のご協力を得て、町内で調査研究を実施させていただくことになりましたので、そのお願いのお便りを差し上げることにいたしました。

この研究プロジェクトについて簡単にご説明いたしますと、きびしい社会経済情勢の中で、女性一人の力で仕事と子育てを行っている世帯を中心にして、そのような世帯が抱える悩みや要望を調査し、行政や企業、地域社会がどのような支援や援助を行う必要があるのかを研究してまいりました。

今年度は厚生労働省の研究補助金を受けて、女性世帯（とりわけ母子世帯）を対象にその就労と子育ての現状を踏まえて、地域社会にどのようなサポートシステムを作り上げたらよいかということテーマに研究を行うことになりました。

研究を進めるためには、仕事と子育てを両立させている女性のご苦勞の現状や、健康や育児などのためにまだ就労していない女性の方々の実情を把握するとともに、地域社会の一員として社会生活を営んでいくために、行政、企業、地域などがどのような支援や援助を行う必要があるのか、直接当事者の方々からお話しやご意見をお伺いする必要があります。

そのために民生委員児童委員の皆様のご協力のもとに、あなたさまの世帯をご紹介いただきました。

ぜひとも調査の趣旨をご理解いただき、聞き取り調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

この調査の実施に当っては、ご本人のお名前はもちろん、個人のプライバシーが外にもれることのないよう万全の体制をとりますし、お伺いしたことについて研究目的以外に利用することはありません。

このような事情ですのでいろいろご都合がおりとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

調査を行う期間は、9月 日（ ）～ 日（ ）の一週間を予定しておりますが、これ以外の時期でもご協力いただける場合には、日程を調整させていただくことも可能です。

なおご不明の点がございましたら、下記までご連絡いただければ幸いです。

2003年8月 日

研究プロジェクト代表

法政大学現代福祉学部教授

杉村 宏

〒194 - 0298 町田市相原町 4 3 4 2

042 (783) 2851

資料1-8 民生委員・児童委員の自立支援活動に関するアンケート調査

このアンケート調査は、厚生労働省の研究費の配分を受けて、困窮母子世帯等の自立支援に関する研究の一環として、民生委員・児童委員の皆さんのご協力により実施するものです。

平成12年度から民生委員・児童委員の役割が、これまでの行政への協力機関から住民の立場に立った自立支援活動を行なうものへと大きく変わりました。そのよう中で高齢者の方々への支援活動などとともに、最近特に子育て相談や育児支援などへと活動が目立つようになりました。

そこでこのアンケートでは、子育て支援などを通じて地域福祉を充実していくために、どのような活動をされているかをおうかがいするものです。日常活動の経験に基づくご意見をおうかがいすることが目的ですから、個人のお名前がでることはありませんし、アンケート結果は統計的に処理し研究目的にのみ使用いたします。お忙しい中申込み入ったことをおうかがいいたしますが、趣旨をお汲み取りいただきご協力賜りますようお願い申し上げます。

プロジェクト研究責任者 法政大学現代福祉学部教授 杉村 宏

1 最初にご自身のことについておうかがいします。

(1) あなたの性別は

- ① 男性 ② 女性

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか

- ① 30～39歳 ② 40～49歳 ③ 50～59歳 ④ 60～69歳 ⑤ 70歳以上

(3) 民生・児童委員としての経験年数は、次のうちどれですか。(8月1日現在でお答えください)

- ① 1年未満 ② 1～4年未満 ③ 4～8年未満 ④ 8～12年未満 ⑤ 12年以上

(4) あなたは主任児童委員ですか

- ① はい ② いいえ

(5) 現在のご職業等は、次のうちどれですか

- ① 自営業 ② 公務員 ③ 会社員 ④ 主婦 ⑤ 年金生活 ⑥ その他()

(6) あなたがもっと長い期間従事されていたご職業等は、つぎのうちどれですか

- ① 自営業 ② 公務員 ③ 会社員 ④ 主婦 ⑤ その他()

(7) あなたの担当地区の特徴は、次のうちどれですか

- ① 商業が中心の地域 ② 工業が中心の地域 ③ 古くからの持家の多い住宅地域
④ 新しい持家(マンションなど)の多い住宅地域 ⑤ 民間アパートなど借家の多い地域
⑥ 公営住宅の多い地域 ⑦ その他()

(8) あなたの地域の世帯数は、次のうちどれですか

- ① 199世帯以下 ② 200～399世帯 ③ 400～599世帯 ④ 600～799世帯
⑤ 800～999世帯 ⑥ 1,000世帯以上

(9) あなたの地域の生活保護世帯数は、次のうちどれですか

- ① 9世帯以下 ② 10～19世帯 ③ 20～29世帯 ④ 30～39世帯
⑤ 40～49世帯 ⑥ 50世帯以上

(10) 生活保護世帯のうち母子世帯数は、次のうちどれですか

- ① 4世帯以下 ② 5～9世帯 ③ 10～14世帯 ④ 15～19世帯
⑤ 20～29世帯 ⑥ 30世帯以上

II 子育て支援活動についておうかがいします

(1) 担当地域の親から子どもさんのことで、相談を受けたことがありますか。

- ① よくある ② 時々ある ③ ほとんどない

(2) (「よくある」「時々ある」場合には)どのようなことですか。あるものすべてに○をしてください。

- ① 育児に関連すること ② 子どものしつけのこと ③ 子どもの健康のこと
④ 発達の遅れのこと ⑤ 子どもの学校生活のこと ⑥ 子どもの交友関係に関すること
⑦ 子どもの引きこもりのこと ⑧ 子どもの非行のこと ⑨ その他()

(3) 親からではなく、地域住民から子どもさんのことで、相談を受けたことがありますか。

- ① よくある ② 時々ある ③ ほとんどない

(4) (「よくある」「時々ある」場合には)どのようなことですか。あるものすべてに○をしてください。

- ① しつけに関すること ② 発達の遅れなど健康に関すること ③ 子どもの交友関係
④ 子どもが引きこもっていること ⑤ 子どもの非行のこと
⑥ 親が子どもを放置していること ⑦ 親が子どもを虐待していること

(5) 相談を受けた子どもさんのことで、民生委員・児童委員として対応したことはありますか。

- ① ある ② ない

(6) (ある場合には)具体的にどのようなことをされましたか。

- ① 関係機関に通報や連絡をした ② 関係機関と協議をした ③ 関係機関と連携して具体的な支援を行った ④ その他()

(1)～(6)に関することで、何かございましたら自由にお書きください)

III 社会福祉に関する地域住民の感じ方についておうかがいします。

(1) あなたは、民生委員・児童委員の役割が、地域住民に理解されていると思いますか

- ① よく理解されていると思う ② だいたい理解されていると思う
③ あまり理解されていないと思う ④ その他()

(2) あなたは、住民の方々が地域福祉に理解があると思いますか

- ① 大変理解があると思う ② おおむねあると思う ③ あまりないと思う
④ その他()

- (3) 地域住民の方々は、社会福祉を利用している人たちに理解があると思いますか
- ① 大変理解があると思う ② おおむねあると思う ③ あまりないと思う
④ その他()
- (4) あなたは、地域社会が高齢者を「注目している」「監視している」と感じることはありますか
- ① ほとんどない ② 時々ある ③ よくある
- (5) あなたは、地域住民の多くが高齢者の福祉を、もっと充実させるべきと考えていると思いますか。
- ① そう思う ② そうは思わない ③ 一概に言えない
- (6) あなたは、地域社会が障害を持つ人々を「注目している」「監視している」と感じることはありますか
- ① ほとんどない ② 時々ある ③ よくある
- (7) あなたは、地域住民の多くが障害を持つ人々の福祉を、もっと充実させるべきであると考えていると思いますか。
- ① そう思う ② そうは思わない ③ 一概に言えない
- (8) あなたは、地域社会が離婚した女性の方々に「注目している」「監視している」と感じることはありますか
- ① ほとんどない ② 時々ある ③ よくある
- (9) あなたは、地域住民の多くが離婚した女性の福祉を、もっと充実させるべきであると考えていると思いますか。
- ① そう思う ② そうは思わない ③ 一概に言えない
- (10) あなたは、地域社会が生活保護を受けている方々を「注目している」「監視している」と感じることはありますか
- ① ほとんどない ② 時々ある ③ よくある
- (11) あなたは、地域住民の多くが生活保護を受けている人々の福祉を、もっと充実させるべきであると考えていると思いますか。
- ① そう思う ② そうは思わない ③ 一概に言えない
- (1)～(7)に関することで、何かございましたら自由にお書きください)

IV 生活保護を受けている母子世帯に関する相談活動などについておうかがいします。

- (1) あなたは、母子世帯(生活保護母子世帯を含む)をどのぐらいの割合で訪問しますか。
- ① 半年に1回位 ② 3ヶ月に1回位 ③ 2ヶ月に1回位 ④ 1ヶ月に1回位
⑤ 1ヶ月に数回 ⑥ 必要なとき随時

- (2) 訪問したとき、母親自身のことで相談を受けることはありますか。
- ① よく受ける ② たまに受ける ③ ほとんどない
- (3) 相談の内容はいろいろあると思いますが、最も多いのは次のうちのどれですか。
- ① 母親の仕事のこと ② 母親の健康のこと ③ 母親の親族のこと
 ④ 子どもの仕事のこと ⑤ 子どもの健康のこと ⑥ 子どものしつけのこと
 ⑦ 子どもの学校のこと ⑧ 子どもの交友関係のこと ⑨ その他の母親のこと
 ⑩ その他の子供のこと
- (4) 民生委員さんの方から話題にすることが最も多いのは、次のうちのどれですか。
- ① 母親の仕事のこと ② 母親の健康のこと ③ 母親の親族のこと
 ④ 子どもの仕事のこと ⑤ 子どもの健康のこと ⑥ 子どものしつけのこと
 ⑦ 子どもの学校のこと ⑧ 子どもの交友関係のこと ⑨ その他の母親のこと
 ⑩ その他の子供のこと
- (5) 担当地区の生活保護母子世帯の生活水準は、近隣の方の生活水準と比べてどのようにお感じですか。
- ① 近隣に比べて低い世帯が多い ② 近隣と同程度の世帯が多い
 ③ 近隣に比べて高い世帯が多い ④ 一概に判断できない
- (6) あなたは、生活保護を受けている母子世帯とそうでない母子世帯に対する、地域社会の見方はかわると思いますか。
- ① かわると思う ② かわらないと思う ③ どちらともいえない
- (7) (「かわると思う」と答えた方に) どのようにかわると思いますか
- ① 生活保護を受けている世帯のほうが厳しい見方をされる
 ② 生活保護を受けている世帯のほうが同情的な見方をされる

V 生活保護を受けている母子世帯への支援のあり方についておうかがいします。

- (1) 生活保護母子世帯への支援で、最も留意されていることはどのようなことですか。
- ① 母親の就労の支援 ② 母親の子育てに対する支援 ③ 母親の社会参加への支援
 ④ 子どもの就労の支援 ⑤ 子どもの就学の支援 ⑥ その他()
- (2) 母親の就労に関して相談を受けることがありますか
- ① よくある ② 時々ある ③ ほとんどない
- (3) (ある場合には) それはどのような相談ですか
- ① 求職活動 ② 仕事の内容 ③ 給料や労働時間 ④ 職場の人間関係など ⑤ その他
- (4) 母親が継続して就労できるように、関係機関を含めて支援するうえで大切であると思われるのは次のうちのどれですか。大切であると思うもの全てに○をしてください。
- ① 継続して働ける職場開拓や紹介 ② 母親が安心して働けるための保育や学童保育の活用
 ③ 職場に適應できるような資格取得や技能訓練の充実 ④ 仕事を継続できる体力の回復や健康